

令和5年度 生物基礎プラス(3年)・川端クラス シラバス

教科・科目	生物基礎プラス	学年	3年	単位	2	分類	理選
教科書	東京書籍「改訂 生物基礎」(生物311)						
副教材	第一学習社 スクエア最新図説生物 neo 第一学習社 2023 ビーライン生物基礎 リクルート スタディサプリ「高校1年・2年 ベーシックレベル生物基礎」						

学習目標	<p>(1) 1年次で学んだ生物基礎を再度学び直す。また、問題演習により大学入学共通テスト「生物基礎」を解く力を養う。</p> <p>(2) 学習方法を試行錯誤しながら自ら組み立て、自分に合った学習方法を確立する。</p> <p>(3) 生徒の学び合いにより、互いの理解を深める。</p>
------	--

授業スタイル	担当教諭の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・主としてコーチング、ファシリテーター、メンターなど、サポーターとして専念する。 ・必要に応じて一斉授業形式のティーチングを行う。 ・授業進行のペースメーカーとしての役割(単元の進行や単元別テスト実施日の設定)。 ・スタディサプリ講義動画テキスト(穴埋め版)や確認小プリント等の配布。スタディサプリ各講義に対応したチェックプリント(講義動画に対応した教科書や問題集の範囲、及び、視点、注意点)の提示と配布。 ・生徒一人ひとりが安心安全の場で学ぶことができる環境づくり。 ・生徒の希望進路、単元別テストの結果、生徒の学びのスタイル、校外模試の結果、スタディサプリ取り組み状況などから、個々に合わせたアドバイスを行う。個別コーチング。
	生徒の学び	<ul style="list-style-type: none"> ・基準となる単元の進行や単元別テスト実施日をもとに、学習ペースを自ら調整する。 ・教科書、図説、参考書、スタディサプリ等の講義動画を活用し、自分に合った学びのスタイルを確立する。 ・単元ごとに目標設定を各自行い、目標到達までの方法も自ら考え実行する。 ・単元ごとに学習理解度や学習方法を振り返り、次の学びに繋げる。

単元別テスト	単元別テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・単元終了後、適当な時期に単元別テストを行う(定期考査と被ることもある)。 ・マークシート形式 & 記述で行う。 ・学校指定問題集と同じ問題は出さないが、同じレベルの問題を出題する。 ・平均点が65~75点になるような問題作成に努める。
	事前学習用紙のルール	<ul style="list-style-type: none"> ・事前学習用紙(A4)を事前に配布し、テスト中の持ち込み可とする。 ・手書きであれば何を書いてもよい。色分け、色塗り可。 ・テスト点や評価には入れない。 ・書かなくてもよい。

提出物	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート提出、スタディサプリ講義テキスト(穴埋め版)の提出なし。 ・ファイル提出なし。 ・目標設定と学習計画が書かれた「学習カルテ」の作成と提出。
-----	---

ICT活用	<ul style="list-style-type: none"> ・スタディサプリ等の講義動画は、各自のスマートフォンやタブレット、イヤホンを用いて視聴する。 ・スタディサプリテキストや確認小プリント、チェックプリント(教科書の範囲、視点・注意点の提示)の記入例や解答は、OneNoteにて配布。 ・学びのPDCAサイクルチェック及び目標設定を、Formsに入力して提出。
-------	---

観点別学習評価	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法		<ul style="list-style-type: none"> ・単元別テスト ・確認小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元別テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況の把握と改善 ・学習方法の試行錯誤 ・学習計画のプランニングと改善